

Kaspersky Free Cloud KSC
管理者ガイド
初期セットアップ編

2020/10/01

株式会社カスペルスキー
セールスエンジニアリング部

Ver 1.0

kaspersky

目次

1.	はじめに.....	3
1.1.	本資料の目的.....	3
2.	初回ログイン.....	4
3.	管理者パスワード変更.....	5
4.	ライセンス登録.....	6
5.	Proxy 設定.....	8
5.1.	Windows 版設定.....	8
5.2.	Mac 版.....	9
5.3.	Linux 版.....	11
6.	KSN 設定.....	13
6.1.	Windows 版設定.....	13
6.2.	Mac 版.....	15
6.3.	Linux 版.....	16
7.	製品保護パスワード設定.....	18
7.1.	Windows 版設定.....	18
7.2.	Windows 版ネットワークエージェント設定.....	20
8.	Windows 版 クライアントインストール用インストールパッケージ作成.....	21
8.1.	スタンドアロンインストールパッケージ作成(ネットワークエージェント).....	21
8.2.	スタンドアロンインストールパッケージ作成(Endpoint Security).....	24
8.3.	8.1 および 8.2 が失敗した場合、もしくは再度ダウンロードを行う場合.....	27
9.	備考 ライセンスについて.....	29

1. はじめに

1.1. 本資料の目的

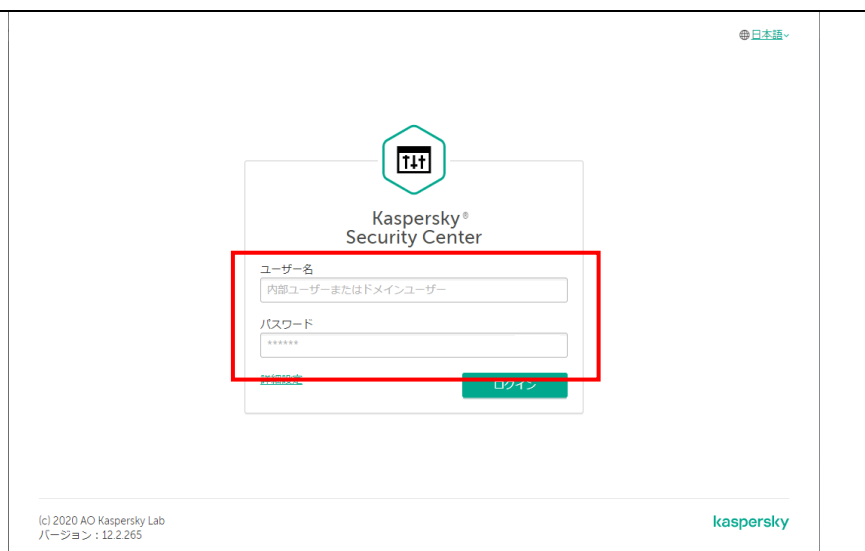
本資料では、“Kaspersky Free Cloud KSC “ を利用するにあたり、管理者が初めに行う初期セットアップについて、ご説明します。

併せて、「Kaspersky Free Cloud KSC 管理者ガイド運用編」もご覧下さい。

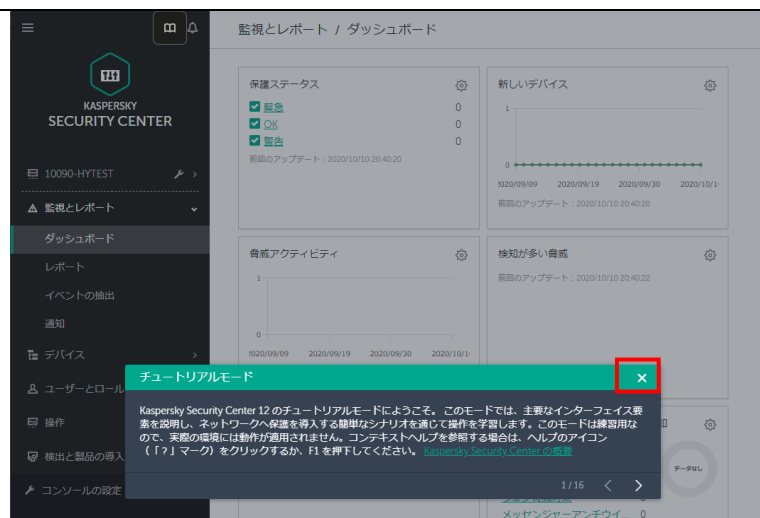
また、本資料に沿って Kaspersky Free Cloud KSC の操作をブラウザで行う場合、**ブラウザの「戻る」ボタンは使用せず、各ページの右上にある×ボタンで閉じてから、再度左部のメニューより各項目を選択してください。**

2. 初回ログイン

(1) ブラウザでカスペルスキーから指定されたアドレスにアクセスします。
ユーザー名、パスワードを入力し、ログインします



(2) チュートリアルモードが表示されます。
今回は、×印をクリックし、チュートリアルを閉じます。




3. 管理者パスワード変更

カスペルスキーから提供されたアカウントの初期パスワードの変更をお願いいたします。

(1) 「ユーザーとロール」→「ユーザー」を開き、ログインに使用したアカウントをクリックします。



(2) パスワードを指定し、×印をクリックします。



パスワードは 8 文字から 16 文字で設定する必要があります。
次の条件のうち 3 つ以上を満たすように文字を組み合わせる必要があります：

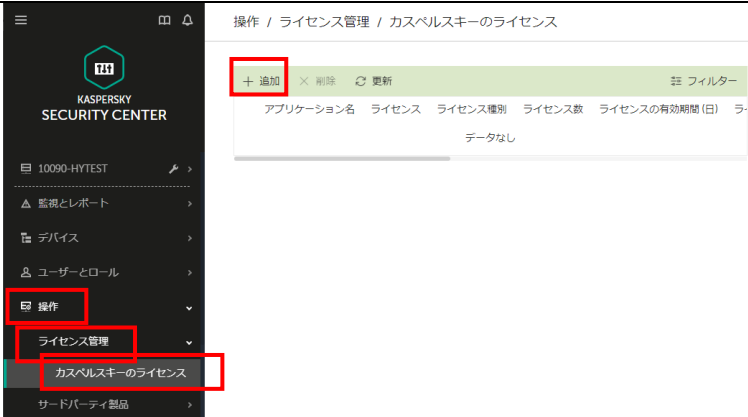
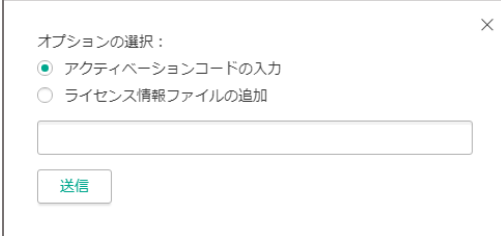
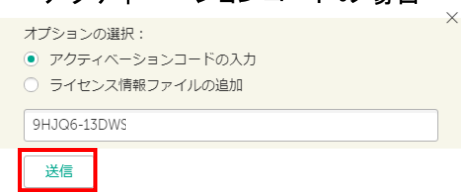
1. アルファベット大文字 (A-Z)
2. アルファベット小文字 (a-z)
3. 数字 (0-9)
4. 記号 (@ # \$ % ^ & * _ ! + = [] { } | : ' . ? / ~ ` " () ;

スペースや Unicode 文字の使用、および「.」と「@」の隣接は避けてください。

以上でパスワード変更が終了しました。

4. ライセンス登録

ご購入頂いたカスペルスキー製品のライセンスを登録します。

<p>(1) 「操作」→「ライセンスの管理」を開き、「追加」をクリックします。</p>	
<p>(2) ご購入いただいたライセンス(アクティベーションコード、またはライセンス情報ファイル)を登録します。アクティベーションコード、ライセンス情報ファイルについては、本資料の9.備考を参照してください。</p>	
<p>(3) アクティベーションコードの場合、アクティベーションコードを入力し「送信」をクリックします。</p> <p>「管理対象デバイスにライセンスを自動的に配布する」にチェックを入れ、「閉じる」をクリックします。</p> <p>ライセンスキーの場合、「ライセンス情報ファイルの選択」をクリックします。2つのキーファイルが納品されています。“9.備考</p>	<p>アクティベーションコードの場合</p> 

ライセンスについて”を参照し、
“Kaspersky Security for
WS and FS”のライセンス
を選択してください。

「管理対象デバイスにライセンスを自動的に配布する」にチェックを入れ、「閉じる」をクリックします。

オプションの選択 :

アクティベーションコードの入力
 ライセンス情報ファイルの追加

9HJQ6-13DW

送信

アプリケーション名 Kaspersky Endpoint Security for Business - Select Japanese Edition, 10-14 Node 1 year NFR License

ライセンス数 10

ライセンスの有効期間 (日) 182

ライセンスの有効期限 2020/12/18 09:00:00

ライセンス種別 製品版

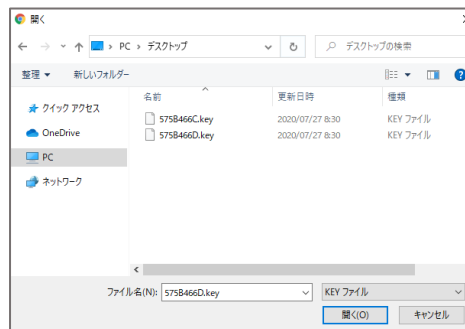
管理対象デバイスにライセンスを自動的に配信する

ライセンスキーの場合

オプションの選択 :

アクティベーションコードの入力
 ライセンス情報ファイルの追加

ライセンス情報ファイルの選択



オプションの選択 :

アクティベーションコードの入力
 ライセンス情報ファイルの追加

ライセンス情報ファイルの選択

アプリケーション名 Kaspersky Endpoint Security for Business - Select Japanese Edition, 10-14 Node 1 year NFR License: Kaspersky Security for WS and FS

ライセンス数 10

ライセンスの有効期間 (日) 182

ライセンスの有効期限 2020/12/18 09:00:00

ライセンス種別 製品版

管理対象デバイスにライセンスを自動的に配信する

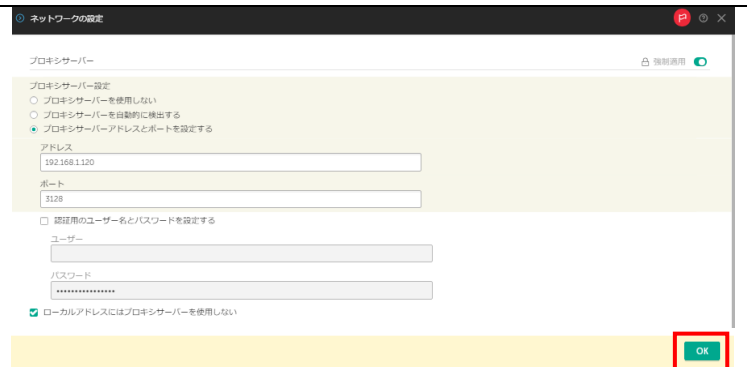
5. Proxy 設定

お客様のインターネット環境が、PROXY サーバーを使用している場合には、PROXY の指定をします。PROXY サーバーを使用していない場合、この手順はスキップします。

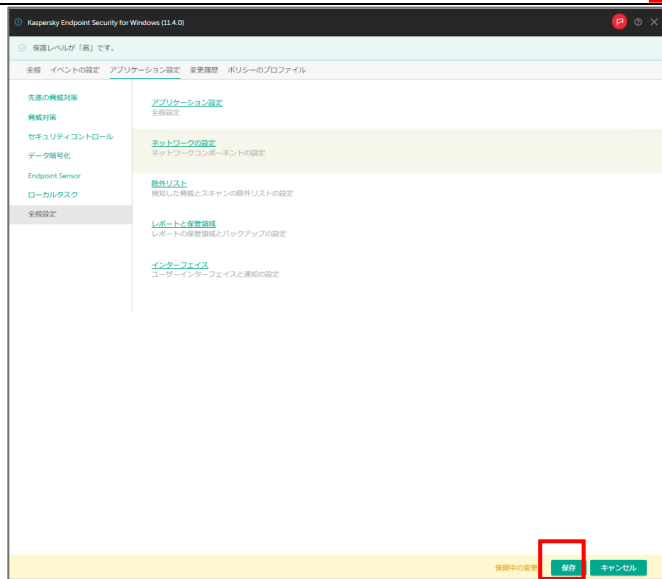
5.1. Windows 版設定

<p>(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Windows」を開きます。</p>	
<p>(2) 「全般設定」→「ネットワークの設定」を選択し、「次へ」をクリックします。</p>	

(3) お客様の環境に合わせて、プロキシの設定を行います。設定画面右下の OK をクリックします。



(4) 「保存」をクリックします。



5.2. Mac 版

(1) 「デバイス」、「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Mac」を開きます。



(2) 「アプリケーション設定」、「詳細設定」を選択、「ネットワーク」をクリックします。






(3) お客様の環境に合わせて、プロキシの設定を行います。設定画面右下の OK をクリックします。



(4) 「保存」をクリックします。



5.3. Linux 版

<p>(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Linux」を開きます。</p>	
<p>(2) 「アプリケーション設定」→「全般設定」を選択、「プロキシサーバー設定」をクリックします。</p>	
<p>(3) お客様の環境に合わせて、プロキシの設定を行います。設定画面右下の OK をクリックします。</p>	

(4) 「保存」をクリックします。



6. KSN 設定

仮想管理サーバーをお使いいただく手順の都合上、申込時にKSNに合意をいただき、KSNが有効な状態で引き渡しとさせていただきます。

セキュリティの観点から停止は推奨しません。停止しない場合は「7.製品保護パスワード設定」にお進みください。KSNの使用を停止したい場合は以下の手順で停止してください。

6.1. Windows 版設定

(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Windows」を開きます。



(2) 「アプリケーション設定」→「先進の脅威対策」→「Kaspersky Security Network」をクリックします。

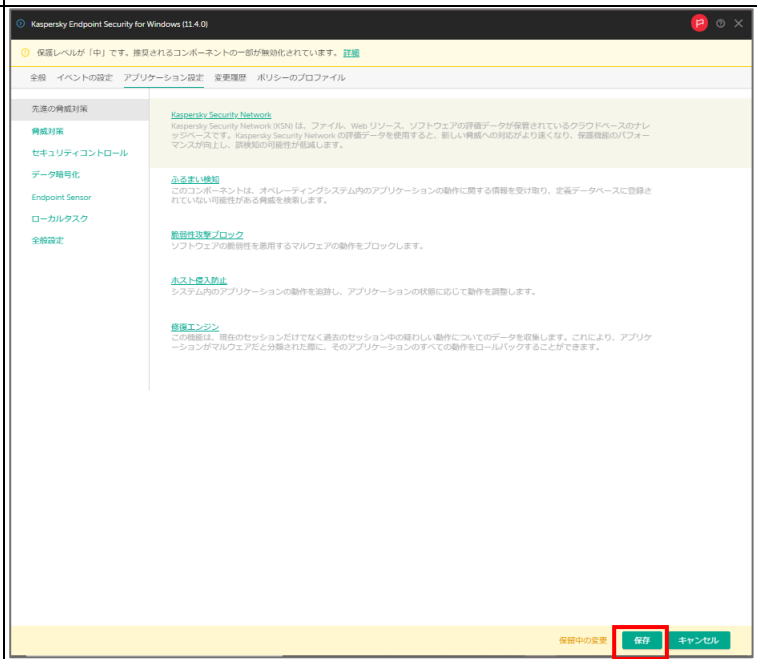


(3) KSN の設定変更を行います。
設定項目の説明はヘルプを
ご参照ください。

<https://support.kaspersky.com/KESWin/11.4.0/ja-JP/165983.htm>

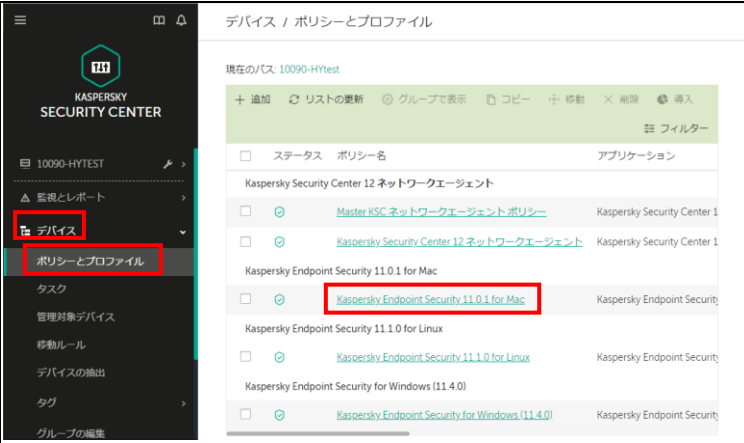


(4) 「保存」をクリックします。



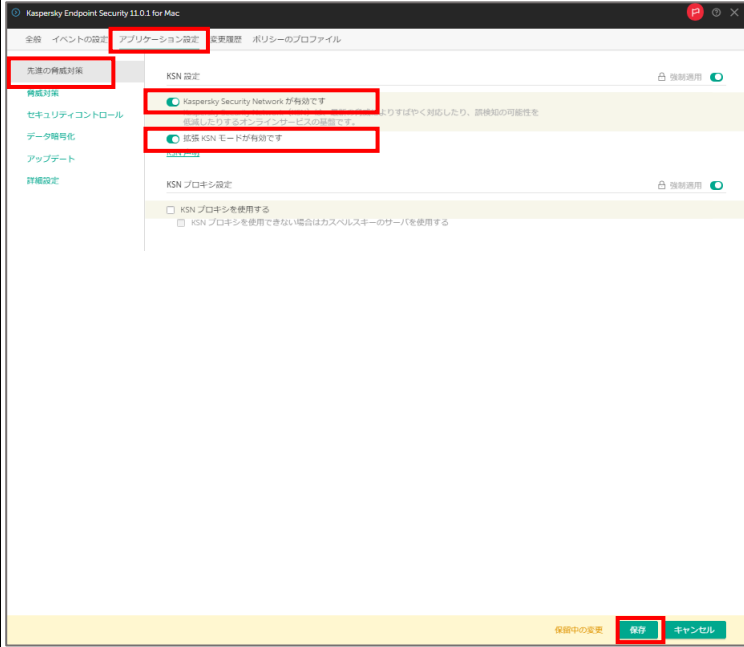
6.2. Mac 版

(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Mac」を開きます。



(2) 「アプリケーション設定」→「先進の脅威対策」をクリックし、KSN 設定を変更します。

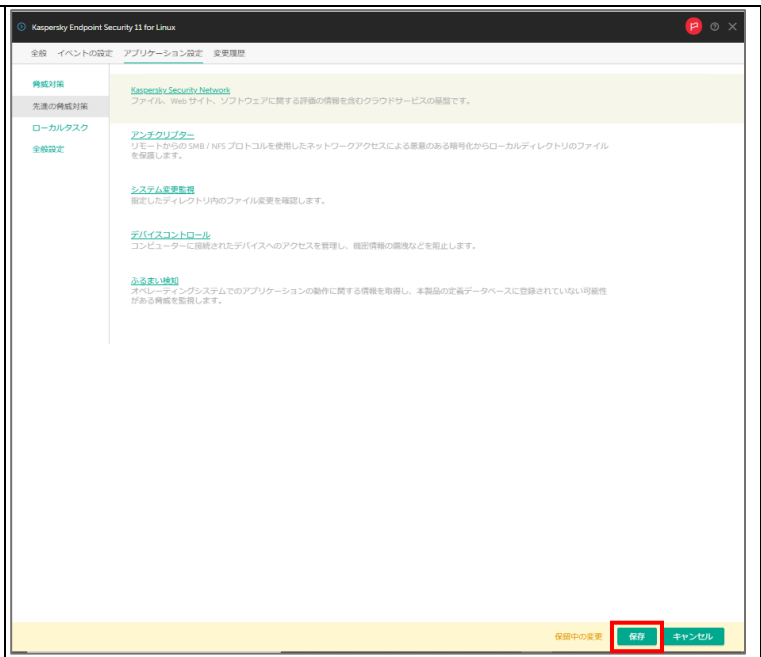
「保存」をクリックします。



6.3. Linux 版

<p>(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Linux」を開きます。</p>	
<p>(2) 「アプリケーション設定」→「先進の脅威対策」を選択、「Kaspersky Security Network」をクリックします。</p>	
<p>(3) KSN 設定を変更します。設定画面右下の OK をクリックします。</p>	

(4) 「保存」をクリックします。





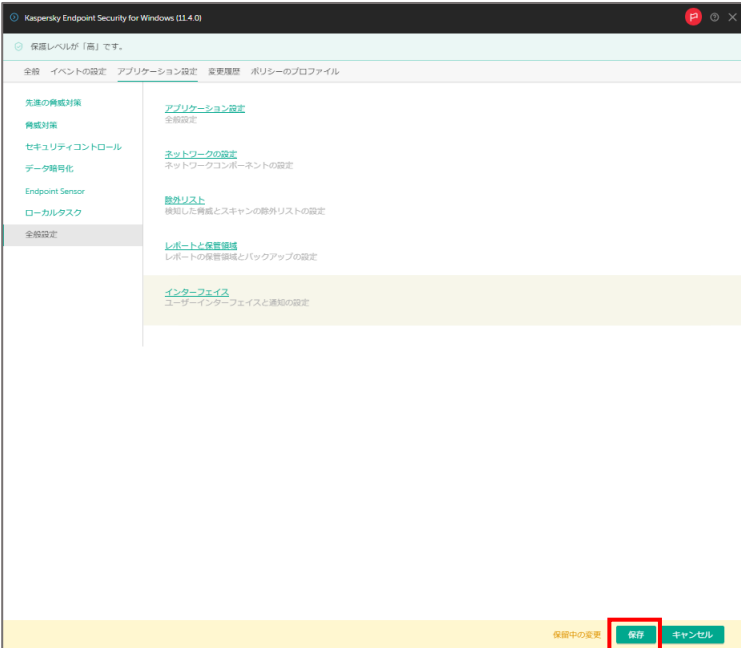
7. 製品保護パスワード設定

重要な手順です。セキュリティの観点からパスワード設定は必ず行ってください。




パスワード設定を行わない場合、マルウェアによって Kaspersky Endpoint Security が無効化される場合がございます。

7.1. Windows 版設定

<p>(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Endpoint Security for Windows」を開きます。</p>	
<p>(2) 「アプリケーション設定」→「全般設定」→「インターフェイス」をクリックします。</p>	
<p>(3) スイッチ部分をクリックします。</p>	

<p>(4) パスワードを設定し、「OK」をクリックします。</p>	
<p>(5) 「OK」をクリックします。</p>	
<p>(6) 「保存」をクリックします。</p>	

7.2. Windows 版ネットワークエージェント設定

<p>(1) 「デバイス」→「ポリシーとプロファイル」をクリックし、「Kaspersky Security Center ネットワークエージェント」を開きます。</p>	
<p>(2) 「アプリケーション設定」→「設定」をクリックします。</p>	
<p>(3) スイッチ部分をクリックし、パスワードを設定し、「保存」をクリックします。</p>	

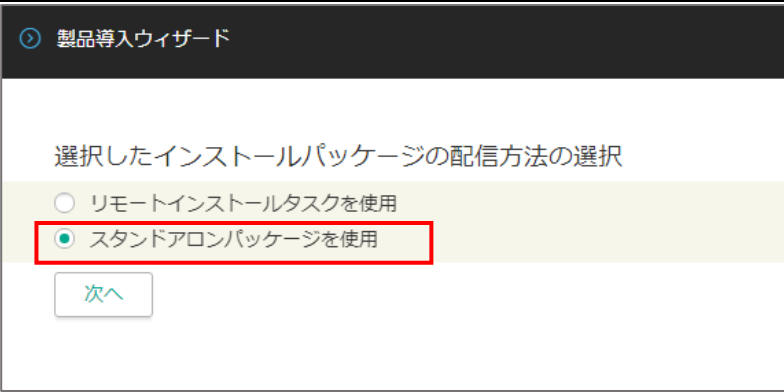
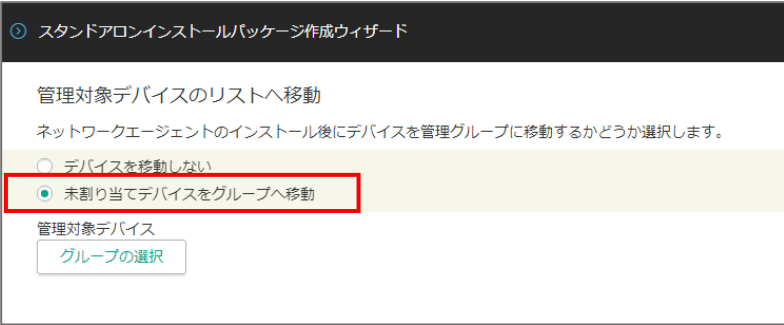
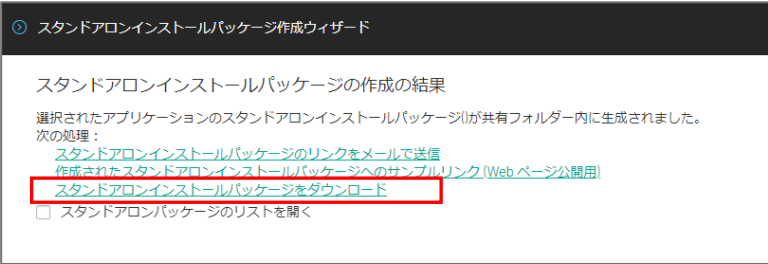

8. Windows 版 クライアントインストール用インストールパッケージ作成


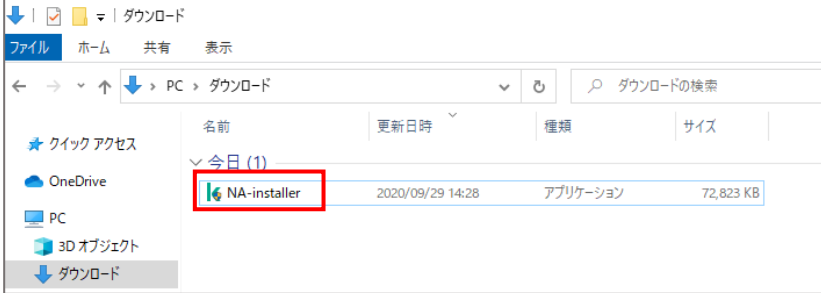

端末にインストールするセキュリティアプリケーションをダウンロードします。

アプリケーションには、ネットワークエージェントと Endpoint Security があります。Windows 版の Endpoint Security にネットワークエージェントを含めることも出来ますが、ここではそれぞれのスタンドアロンインストールパッケージを作成する手順とします。

8.1. スタンドアロンインストールパッケージ作成(ネットワークエージェント)

<p>(1) 「操作」→「リポジトリ」→「インストールパッケージ」をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the Kaspersky Security Center web interface. On the left sidebar, the '操作' (Operations) menu is expanded, and 'リポジトリ' (Repository) is selected. Below it, 'インストールパッケージ' (Install Packages) is highlighted with a red box. The main content area shows the 'インストールパッケージ' (Install Packages) page with a table of packages.</p>																
<p>(2) 「Kaspersky Security Center 12 ネットワークエージェント」にチェックを入れ、「製品の導入」をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the 'インストールパッケージ' (Install Packages) page. The '+ 製品の導入' (Import Products) button is highlighted with a red box. In the table below, the checkbox for 'Kaspersky Security Center 12 ネットワークエージェント(12.0.0.7734)' is checked with a red box.</p> <table border="1"><thead><tr><th><input type="checkbox"/></th><th>名前</th><th>ソース</th><th>アプリケーション</th></tr></thead><tbody><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>Kaspersky Network Agent for Mac 12.0.0.35</td><td>カスペルスキー</td><td>Kaspersky Netw</td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>Kaspersky Security Center 12 ネットワークエージェント(12.0.0.7734)</td><td>カスペルスキー</td><td>Kaspersky Secu</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>Kaspersky Endpoint Security for Windows (11.4.0)</td><td>カスペルスキー</td><td>Kaspersky Endp</td></tr></tbody></table>	<input type="checkbox"/>	名前	ソース	アプリケーション	<input type="checkbox"/>	Kaspersky Network Agent for Mac 12.0.0.35	カスペルスキー	Kaspersky Netw	<input checked="" type="checkbox"/>	Kaspersky Security Center 12 ネットワークエージェント(12.0.0.7734)	カスペルスキー	Kaspersky Secu	<input type="checkbox"/>	Kaspersky Endpoint Security for Windows (11.4.0)	カスペルスキー	Kaspersky Endp
<input type="checkbox"/>	名前	ソース	アプリケーション														
<input type="checkbox"/>	Kaspersky Network Agent for Mac 12.0.0.35	カスペルスキー	Kaspersky Netw														
<input checked="" type="checkbox"/>	Kaspersky Security Center 12 ネットワークエージェント(12.0.0.7734)	カスペルスキー	Kaspersky Secu														
<input type="checkbox"/>	Kaspersky Endpoint Security for Windows (11.4.0)	カスペルスキー	Kaspersky Endp														

<p>(3) 「スタンドアロンパッケージを使用」を選択し、「次へ」をクリックします。</p>	
<p>(4) 「未割り当てデバイスをグループへ移動」を選択し、「次へ」をクリックします。</p>	
<p>(5) 「スタンドアロンインストールパッケージをダウンロード」をクリックし、ダウンロードします。</p> <p>【注意】「スタンドアロンインストールパッケージをダウンロード」をクリック後、ダウンロードが始まるまで時間がかかります。</p> <p>ポップアップがブロックされる場合は、ポップアップを許可後、ダウンロードが始まるまで操作を行わないでください。</p> <p>5分ほど待ってもダウンロードが始まらない場合、「8.3.作成済みスタンドアロンインストールパッケージの使用」の手順でダウンロードします。</p>	 

<p>(6) ダウンロードフォルダーを確認します。</p>	
<p>(7) ネットワークエージェントのインストールパッケージなので、NA-installer などに名前を変更します。</p>	
<p>(8) 終了をクリックします。</p>	

8.2. スタンドアロンインストールパッケージ作成 (Endpoint Security)

<p>(9) 「操作」→「リポジトリ」→「インストールパッケージ」をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the Kaspersky Security Center interface. On the left, a navigation menu is visible with several items. Three items are highlighted with red boxes: '操作' (Operations), 'リポジトリ' (Repository), and 'インストールパッケージ' (Install Packages). The main area on the right shows the 'インストールパッケージ' (Install Packages) page, which is currently empty, with a table header and a few rows of data visible below.</p>
<p>(10) Kaspersky Endpoint Security for Windows にチェックを入れ、「製品の導入」をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the 'インストールパッケージ' (Install Packages) page. A table lists several products. The product 'Kaspersky Endpoint Security for Windows (11.4.0)' is selected, indicated by a checked checkbox in the first column. The button '+ 製品の導入' (Import Product) is highlighted with a red box. The table has columns for '名前' (Name), 'ソース' (Source), and 'アプリケーション' (Application).</p>
<p>(11) 「スタンドアロンパッケージを使用」を選択し、「次へ」をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the '製品導入ウィザード' (Product Import Wizard) screen. The title is '製品導入ウィザード'. Below the title, there is a section titled '選択したインストールパッケージの配信方法の選択' (Select the distribution method for the selected install package). There are two radio button options: 'リモートインストールタスクを使用' (Use Remote Install Task) and 'スタンドアロンパッケージを使用' (Use Standalone Package). The second option is selected and highlighted with a red box. Below the options, there is a button labeled '次へ' (Next), which is also highlighted with a red box.</p>

(12) 「スタンドアロンパッケージの作成」を選択し、「次へ」をクリックします。

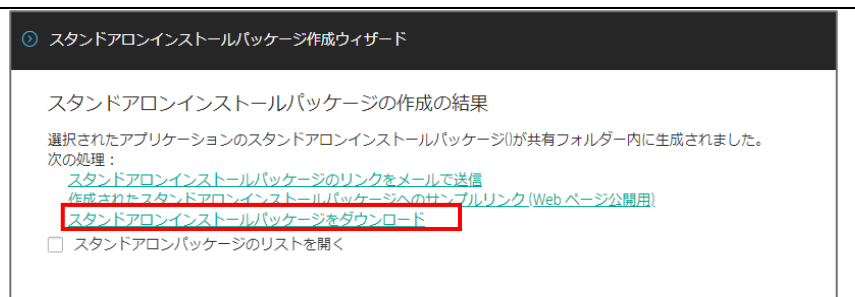


(13) 「このアプリケーションと同時に～」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



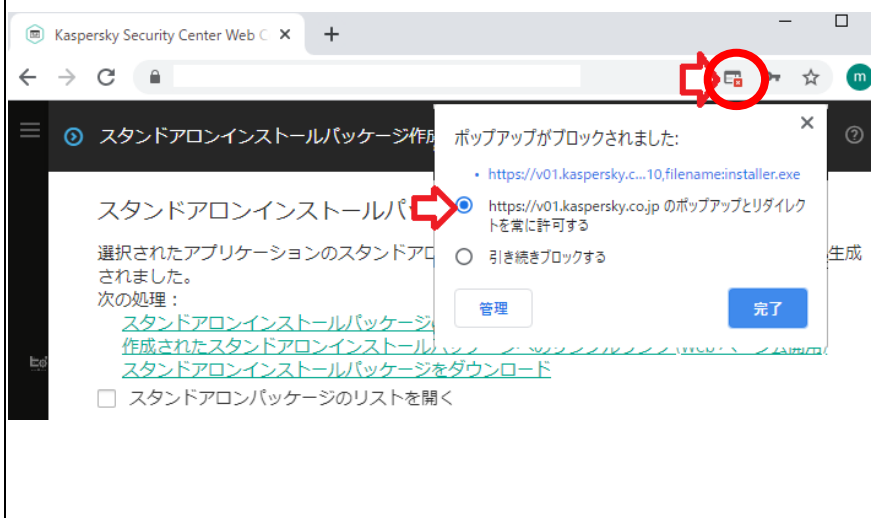
(14) 「スタンドアロンインストールパッケージをダウンロード」をクリックします。

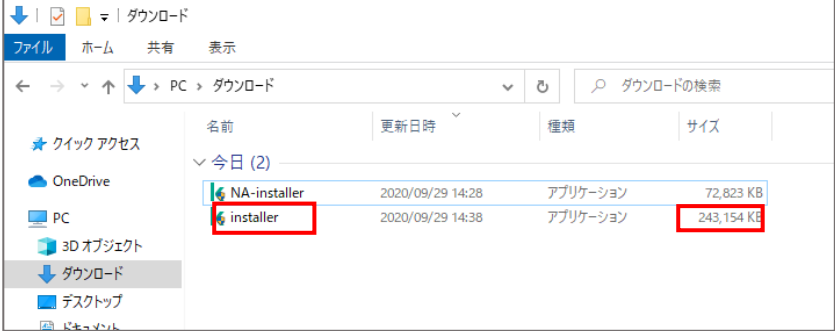
【注意】「スタンドアロンインストールパッケージをダウンロード」をクリック後、ダウンロードが始まるまで時間がかかります。



ポップアップがブロックされる場合は、ポップアップを許可後、ダウンロードが始まるまで操作を行わないでください。

5分ほど待ってもダウンロードが始まらない場合、「8.3.作成済みスタンドアロンインストールパッケージの使用」の手順でダウンロードします。



<p>(15) ダウンロードフォルダーを確認します。</p>	
<p>(16) KES-installer などに名前を変更します。</p>	
<p>(17) 終了をクリックします。</p>	

8.3. 8.1 および 8.2 が失敗した場合、もしくは再度ダウンロードを行う場合

(18) 「操作」→「リポジトリ」→「インストールパッケージ」をクリックします。

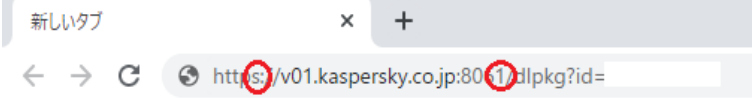
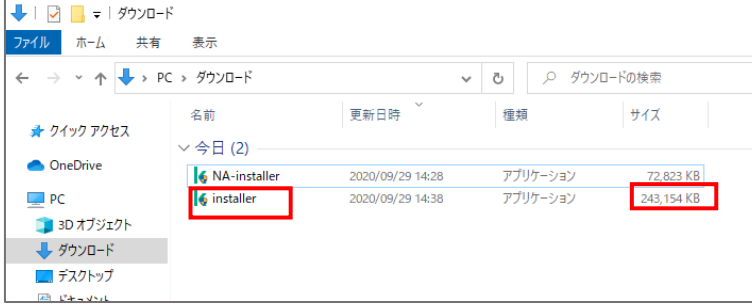
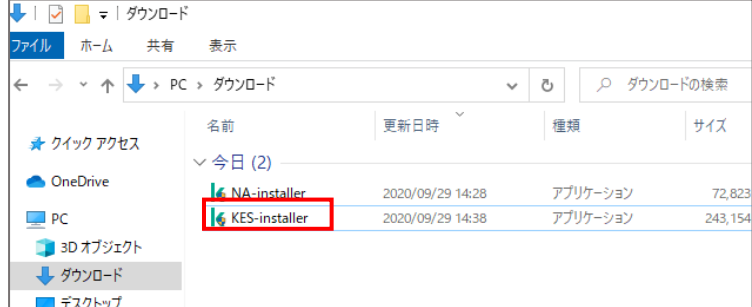



(1) スタンドアロンパッケージリストの表示をクリックします。



(2) 画面を横にスクロールしてダウンロードしたいパッケージの URL をコピーします。
【注意】「ネットワークエージェントのインストールパッケージ名」がある Kaspersky Endpoint Security for Windows(11.x.x) は選択しないでください。Kaspersky Endpoint Security for Windows(11.x.x)を選択する際は「ネットワークエージェントのインストールパッケージ名」が無いものを選択してください。



<p>ブラウザの別タブまたは別ウィンドウを開き、コピーした URL を張り付けます。URL の http を https に変更、8060 を 8061 に変更しアクセスしてください。 https://v01.kaspersky.co.jp:8061/dlpkg?id=...</p>	
<p>ダウンロードフォルダーを確認します。</p>	
<p>ネットワークエージェントは NA-installer、Endpoint Security は KES-installer などに名前を変更します。</p> <p>ネットワークエージェントが完了した方は、8.2. スタンドアロンインストールパッケージ作成 (Endpoint Security) に進んでください。</p>	
<p>一度アクセスに成功しダウンロードが完了すると、「ファイルのハッシュ」に情報が加わります。</p> <p>次回以降はパッケージにチェックを入れ、「ダウンロード」を押すだけで可能になります。</p>	

初期セットアップの手順は以上となります。

各クライアントへのインストールについては、Kaspersky Free Cloud KSC 管理者ガイド運用編をご確認ください。

9. 備考 ライセンスについて

Kaspersky Free Cloud KSC は、Kaspersky Endpoint Security for Business をご購入いただいたお客様が使用出来ます。Kaspersky Endpoint Security for Business には 2 種類のライセンスキーとアクティベーションコードがあります。

本サービスで使用するのには、“Kaspersky Security for WS and FS”のキーか、アクティベーションコードです。

ライセンスはカスペルスキー販売パートナー様を通じて納品されています。

KESB Select 購入時 ライセンスキーファイル サンプル

2つのキーファイルを納品いたします。
使用する機能により、ライセンスが分かれています。
適用方法は同梱の資料、サポートページKBをご覧ください。

Keys:

File Name	Lic. Count	Lic. Obj.	Application Name
-----------	------------	-----------	------------------

472FD8XX.key	25 MDM		Security Center
--------------	--------	--	-----------------

※こちらのキーをKaspersky Security Centerに適用することにより、MDM機能をご利用頂けます。

472FD8XX.key	25 Node		Kaspersky Security for WS and FS
--------------	---------	--	----------------------------------

※こちらのキーは、アンチウイルス機能のキーとなります。

アクティベーションコード:

45NWC-7BN39-KB4UN-x x x x			Kaspersky Security for WS and FS
---------------------------	--	--	----------------------------------

※こちらのキーは、アンチウイルス機能のキーとなります。

【ライセンス登録ガイドURL】

http://kasperskylabs.jp/biz/sonota/procedure_activate_license.pdf

アクティベーションコードの登録方法は上記資料の最後のページをご参照ください。